

《New Products》

米国Apollo Instruments社製ファイバー付超高輝度LDモジュール

米国Apollo Instruments社製ファイバー付超高輝度LDモジュール(Fシリーズ)は、高出力リニアアレイのLD素子と自社独自のビームシェーパー(集光)技術を用い、コア径100マイクロメートルのファイバー端でCW18Wの超高輝度発振を実現したファイバー付きのLDモジュールです。各種レーザ微細熱加工、樹脂溶着や極小ハンダ付け装置向け、固体レーザ励起用の光源などにご利用いただけます。

また、コリメート(平行)光を発振する高輝度LDモジュール(Cシリーズ)および電源一体型LDシステム(Pシリーズ、Sシリーズ)もラインナップがあり、同社のビームシェーパー技術を応用した製品を取りそろえています。

《主な仕様および特長》

ファイバー付超高輝度LDモジュール(Fシリーズ)

- 出力 : 15 ~ 300W
- 波長 : 780 ~ 980nm
- ファイバー径 : 0.05 ~ 1.0mm (NA:0.22)
- 高出力・高輝度・高結合効率
- シングルファイバー発振、単一波長出力
- コンパクト
- ガイド光オプション有

超高輝度LDモジュール(Cシリーズ)

- 出力 : 32 ~ 55W
- 波長 : 780 ~ 980nm
- ビーム拡がり角 : 3×3 ~ 10×16 mrad
- ビームサイズ : 10×8 ~ 11×11 mm

電源一体型LDシステム(Pシリーズ、Sシリーズ)

- 出力 : 15 ~ 300W
- 波長 : 780 ~ 980nm
- ファイバー径 : 0.1 ~ 1.0mm (NA:0.22)
- 繰り返し周波数 : ~ 1kHz
- パルス幅 : 100 μsec ~ CW
- インターフェイス : RS232、外部アナログトリガー

<Apollo Instruments社について>

代表者: Alice Z Gheen

本社: 米国カリフォルニア州イルバイン

設立: 1996年

事業内容: レーザ及び光学技術をもとに高性能機器を開発、設計・製造している企業。最近では高速、高分解能3次元イメージング装置の他に、今回のファイバー付LDモジュール、電源一体型LD装置を製造。

Apollo Instruments社の詳細については、www.apolloinstruments.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

代表者: 堀越 毅一

本社: 東京都中央区日本橋大伝馬町8-1

設立: 1947年

資本金: 62億1450万円

従業員: 983名 (2002年4月1日現在)

売上高: 1,381億円 (2002年3月期連結)

事業内容: 集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売。レーザ機器部門では、研究開発用や産業加工用のレーザ発信器および周辺機器を扱い2001年度は53億円を売り上げた。産業加工用ではレーザライン社の高出力ダイレクト半導体レーザ装置やJDSユニフェイズ社の各種レーザ、ハイヤグ社のレーザ加工用ヘッド・ケーブルなどを取り扱っている。東京証券取引所市場第1部に上場。(コード番号: 7537)

丸文株式会社の詳細については、www.marubun.co.jp をご覧ください。

商品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー レーザ機器部

担当: 武田 (タケダ)

東京都中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL: 03-3639-9811

FAX: 03-3662-1349

E-mail: stakeda@marubun.co.jp

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担当: 喜多 (キタ)

東京都中央区日本橋大伝馬町8-1 〒103-8577

TEL: 03-3639-9803

FAX: 03-5644-7693

E-mail: kitakita@marubun.co.jp



米国Apollo Instruments社製
ファイバー付き超高度LDモジュール(Fシリーズ)